
札幌臨床検査センター株式会社
帯広営業所

検査案内

動物環境検査

No.	検査材料	検査項目		結果報告	検体搬送	価格	説明 ページ
		項目名	検査				
	【乳汁,他】						
1	乳汁	乳房炎スクリーニング		7日後	冷凍	¥1,500	1
2	乳汁	簡易同定(スクリーニング)		7日後	冷凍	¥1,000	1
3	乳汁	コメント(スクリーニング)		7日後	冷凍	¥500	1
4	乳汁	細菌同定検査		3日後	冷凍	¥1,200	2
5	乳汁	薬剤感受性検査		細菌発育後1日	冷凍	¥1,200	2
6	乳汁	細菌検査 (S A)		3日後	冷凍	¥350	2
7	乳汁	細菌検査 (S A G)		3日後	冷凍	¥350	3
8	乳汁	細菌検査 (プロトセカ)		3日後	冷凍	¥500	3
9	乳汁	マイコプラズマ(PCR法)	※外注	6~9日後	冷凍	¥1,200	3
10	乳汁	マイコプラズマ(培養法)		14日後	冷凍	¥1,200	4
11	乳汁	マイコプラズマ8菌種同定	※外注	発育後2日	冷凍	¥3,000	4
12	乳汁	マイコプラズマ3菌種同定	※外注	発育後2日	冷凍	¥2,000	4
13	乳汁	細菌検査 (緑膿菌)		3日後	冷凍	¥350	5
14	乳汁	生菌数		2日後	冷凍	¥350	5
15	乳汁	耐熱生菌数		2日後	冷凍	¥350	5
16	乳汁	低温細菌		7日後	冷凍	¥600	6
17	乳汁	セレウス菌		7日後	冷蔵・冷凍	¥4,000	6
18	乳汁	MUN		1日後	冷蔵	¥200	6
19	乳汁	牛IgG		7日後	冷凍	¥2,500	7
20	初乳	細菌同定検査 (初乳)		3日後	冷蔵	¥1,200	7
21	子宮洗浄液	細菌同定検査 (子宮洗浄液)		3~7日後	冷凍	¥1,200	7
22	拭き取り	細菌同定検査 (拭取り)		3日後	冷蔵	¥1,200	8
23	鼻汁	細菌同定検査 (鼻汁)		3日後	冷蔵	¥1,200	8
24	鼻汁	薬剤感受性検査 (鼻汁)		細菌発育後1日	冷蔵	¥1,200	8
25	鼻汁・耳膿	マイコプラズマ (鼻汁、耳膿)		14日後	冷蔵	¥1,200	9
26	鼻汁・耳膿	マイコプラズマ感受性検査		細菌発育後7日	冷蔵	¥1,200	9
	【糞便】						
27	糞便	細菌同定検査 (糞便)		3日後	冷蔵	¥1,200	10
28	糞便	薬剤感受性検査 (糞便)		細菌発育後1日	冷蔵	¥1,200	10
29	糞便	コクシジウム		3日後	冷蔵	¥350	10
30	糞便	クリプトスポリジウム		3日後	冷蔵	¥350	11
31	糞便	ロタウイルス		3日後	冷蔵	¥850	11
32	糞便	クロストリジウム (定量)		3日後	冷蔵	¥1,500	11
33	糞便	クロストリジウム (定性)		3日後	冷蔵	¥800	12
34	糞便	コロナウイルス		3日後	冷蔵	¥2,400	12
35	糞便	病原性大腸菌 (K88、K99)		7日後	冷蔵	¥600	12
36	糞便	線虫卵		1日後	冷蔵	¥500	13
37	糞便	糞便フローラ		7日後	冷蔵	¥12,000	13
38	糞便・スワブ便	サルモネラ(培養法)		3~4日後	冷蔵	¥950	13

乳汁,他検査

1.乳房炎スクリーニング

¥1,500

バルク乳中のブドウ球菌・レンサ球菌・大腸菌等の菌数と、耐熱生菌数を測定。牛群内の乳房炎起因菌をモニタリングし、バルク乳の汚染度合いを確認する。

検体材料	乳汁
検体必要量	5ml
検体搬送	冷凍
結果報告	7日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	簡易同定,コメント別料金

2.簡易同定(スクリーニング)

¥1,000

乳房炎スクリーニングに追加可能。
簡易同定ではさらに、上記の菌以外に発育した菌(緑膿菌やクレブジエラなど)の、より細かな菌種を割合(%表記)で報告する。

検体材料	乳汁
検体必要量	5ml
検体搬送	冷凍
結果報告	7日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

3.コメント(スクリーニング)

¥500

乳房炎スクリーニングに追加可能。
結果についてのコメントを報告する。

検体材料	乳汁
検体必要量	5ml
検体搬送	冷凍
結果報告	7日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

乳汁,他検査

4.細菌同定検査

¥1,200

乳汁中の細菌種と菌数を測定し、乳房炎の原因菌を推定する。

検体材料	乳汁
検体必要量	5ml
検体搬送	冷凍
結果報告	3日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

5.薬剤感受性検査

¥1,200

感染症治療に有効な抗生物質を選択する。

検体材料	乳汁
検体必要量	
検体搬送	冷凍
結果報告	細菌発育後1日
検査日	月～金
検査法	ディスク拡散法
備考	

6.細菌検査(SA)

¥350

乳汁中の黄色ブドウ球菌（SA）数を測定し、黄色ブドウ球菌による乳房炎と汚染度合いを確認する。

検体材料	乳汁
検体必要量	5ml
検体搬送	冷凍
結果報告	3日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

乳汁,他検査

7.細菌検査(SAG)

¥350

乳汁中の無乳性レンサ球菌(SAG)数を測定し、無乳性レンサ球菌による乳房炎と汚染度合いを確認する。

検体材料	乳汁
検体必要量	5ml
検体搬送	冷凍
結果報告	3日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

8.細菌検査(プロトセカ)

¥500

乳汁中のプロトセカ数を測定し、プロトセカによる乳房炎と汚染度合いを確認する。

検体材料	乳汁
検体必要量	5ml
検体搬送	冷凍
結果報告	3日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

9.マイコプラズマ(PCR法)

¥1,200

重篤な乳房炎の原因となるマイコプラズマを遺伝子により検出する。培養法よりも結果が早く出る利点あり。

検体材料	乳汁
検体必要量	5ml
検体搬送	冷凍
結果報告	6～9日後
検査日	月～金
検査法	PCR法
備考	※菌種同定別途依頼必要

乳汁,他検査

10.マイコプラズマ(培養法)

¥1,200

乳汁中のマイコプラズマ菌を検出する。専用のPPLO培地を用いて培養する。菌量,菌種同定を報告

検体材料	乳汁
検体必要量	5ml
検体搬送	冷凍
結果報告	14日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	※菌種同定含む

11.マイコプラズマ8菌種同定

¥3,000

牛マイコプラズマの種名を同定する。
M.bovis・M.bovigenitalium・M.californicum, 他
5菌種について検査。

検体材料	乳汁
検体必要量	5ml
検体搬送	冷凍
結果報告	発育後2日
検査日	
検査法	
備考	

12.マイコプラズマ3菌種同定

¥2,000

牛マイコプラズマの種名を同定する。
M.bovis・M.bovigenitalium・M.californicumの3
菌種を同定。

検体材料	乳汁
検体必要量	5ml
検体搬送	冷凍
結果報告	発育後2日
検査日	
検査法	
備考	

乳汁,他検査

13.細菌検査(緑膿菌)

¥350

乳汁中の緑膿菌数を測定し、緑膿菌による乳房炎と汚染度合いを確認する。

検体材料	乳汁
検体必要量	5ml
検体搬送	冷凍
結果報告	3日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

14.生菌数

¥350

乳汁中の生菌数を測定し、乳汁の細菌汚染度合いを確認する。

検体材料	乳汁
検体必要量	5ml
検体搬送	冷凍
結果報告	2日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

15.耐熱生菌数

¥350

乳汁を63°C30分加熱後に、残存する生菌数を測定する検査。加熱後に残存する細菌は、乳房炎起因菌より環境汚染菌の可能性が高い為、乳汁汚染が乳房炎によるものか、環境汚染によるものかを見極める事が出来る。又、対象の検体が低温殺菌牛乳に適しているかも確認出来る。

検体材料	乳汁
検体必要量	5ml
検体搬送	冷凍
結果報告	2日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

乳汁,他検査

16.低温細菌

¥600

乳汁中の低温でも増殖する低温細菌数を測定。数が多い場合は冷蔵による長期保存に不適。

検体材料	乳汁
検体必要量	5ml
検体搬送	冷凍
結果報告	7日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

17.セレウス菌

¥4,000

乳汁中のセレウス菌数を集菌法により測定。数が多い場合はUHT殺菌に支障を与える可能性あり。

検体材料	乳汁
検体必要量	100ml
検体搬送	冷蔵・冷凍
結果報告	7日後
検査日	月～金
検査法	集菌法
備考	

18.MUN

¥200

MUN（乳中尿素態窒素）は給与飼料のエネルギーとタンパク質のバランスを表わす指標。

検体材料	乳汁
検体必要量	5ml
検体搬送	冷蔵
結果報告	1日後
検査日	月～金
検査法	ウレアーゼGLDH法
備考	

乳汁,他検査

19.牛IgG

¥2,500

子牛の血液に含まれる免疫グロブリンG(IgG)濃度を測定し、初乳による受動免疫が適切に移行しているかを評価する検査。

検体材料	乳汁
検体必要量	1ml
検体搬送	冷凍
結果報告	7日後
検査日	毎週1回
検査法	SRID法
備考	

20.細菌同定検査(初乳)

¥1,200

初乳中の細菌同定と菌数定量検査。数値が高いと子牛の下痢等の原因となる。

検体材料	初乳
検体必要量	5ml
検体搬送	冷蔵
結果報告	3日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

21.細菌同定検査(子宮洗浄液)

¥1,200

子宮洗浄液の細菌同定と菌数定量検査。

検体材料	子宮洗浄液
検体必要量	5ml
検体搬送	冷凍
結果報告	3～7日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

乳汁,他検査

22.細菌同定検査(拭取り)

¥1,200

ふき取り部分の細菌汚染度を確認する。

検体材料	拭き取り
検体必要量	拭い
検体搬送	冷蔵
結果報告	3日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

23.細菌同定検査(鼻汁)

¥1,200

パストツレラ・マンヘミア・ヒストフィルス等を検出する。

検体材料	鼻汁
検体必要量	拭い
検体搬送	冷蔵
結果報告	3日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

24.薬剤感受性検査(鼻汁)

¥1,200

パストツレラ・マンヘミア・ヒストフィルス等の薬剤感受性を確認。

検体材料	鼻汁
検体必要量	
検体搬送	冷蔵
結果報告	細菌発育後1日
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

乳汁,他検査

25.マイコプラズマ(鼻汁、耳膿)

¥1,200

鼻汁・耳膿のマイコプラズマ菌を検出する。
専用のPPLO培地を用いて培養する。

検体材料	鼻汁・耳膿
検体必要量	拭い
検体搬送	冷蔵
結果報告	14日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

26.マイコプラズマ感受性検査

¥1,200

鼻汁・耳膿より検出されたマイコプラズマ菌の薬
剤感受性を確認。

検体材料	鼻汁・耳膿
検体必要量	
検体搬送	冷蔵
結果報告	細菌発育後7日
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

検体材料	
検体必要量	
検体搬送	
結果報告	
検査日	
検査法	
備考	

糞便検査

27.細菌同定検査(糞便)

¥1,200

糞便中の大腸菌・ブドウ球菌・酵母様真菌・その他の菌を検出。尚、サルモネラ菌を疑う場合は、別途サルモネラ(糞便)を同時依頼する事が必要。

検体材料	糞便
検体必要量	親指の第一関節程度
検体搬送	冷蔵
結果報告	3日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

28.薬剤感受性検査(糞便)

¥1,200

便由来の大腸菌・黄色ブドウ球菌・サルモネラ菌等の薬剤感受性を確認。

検体材料	糞便
検体必要量	
検体搬送	冷蔵
結果報告	細菌発育後1日
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

29.コクシジウム

¥350

糞便中のコクシジウム原虫を定性的に確認（－～+++）

検体材料	糞便
検体必要量	親指の第一関節程度
検体搬送	冷蔵
結果報告	3日後
検査日	月～金
検査法	シヨ糖浮遊法
備考	

糞便検査

30.クリプトスポリジウム

¥350

糞便中のクリプトスポリジウム原虫を定性的に確認（- ～ +++）

検体材料	糞便
検体必要量	親指の第一関節程度
検体搬送	冷蔵
結果報告	3日後
検査日	月～金
検査法	シヨ糖浮遊法
備考	

31.ロタウイルス

¥850

糞便中のロタウイルスを確認。

検体材料	糞便
検体必要量	親指の第一関節程度
検体搬送	冷蔵
結果報告	3日後
検査日	月～金
検査法	イムノクロマト法
備考	

32.クロストリジウム(定量)

¥1,500

糞便中のウェルシュ菌菌数定量。1グラム当たり10の5乗個をカットオフ値とする。

※ 単独でご依頼の場合、培養が必要な為細菌同定検査(1,200円)も請求となります。

検体材料	糞便
検体必要量	親指の第一関節程度
検体搬送	冷蔵
結果報告	3日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	単独依頼 +1,200円

糞便検査

33.クロストリジウム(定性)

¥800

糞便中のウェルシュ菌を定性的に確認（+++以上を病的とする）

※ 単独でご依頼の場合、培養が必要な為細菌同定検査(1,200円)も請求となります。

検体材料	糞便
検体必要量	親指の第一関節程度
検体搬送	冷蔵
結果報告	3日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	単独依頼 +1,200円

34.コロナウイルス

¥2,400

糞便中のコロナウイルスを確認。

検体材料	糞便
検体必要量	親指の第一関節程度
検体搬送	冷蔵
結果報告	3日後
検査日	月～金
検査法	イムノクロマト法
備考	

35.病原性大腸菌(K88、K99)

¥600

糞便中の病原性大腸菌（K88・K99）を確認。

※ 単独でご依頼の場合、培養が必要な為細菌同定検査(1,200円)も請求となります。

検体材料	糞便
検体必要量	親指の第一関節程度
検体搬送	冷蔵
結果報告	7日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	単独依頼 +1,200円

糞便検査

36.線虫卵

¥500

糞便中の線虫卵を定性的に確認（－ ～ +++）

検体材料	糞便
検体必要量	拇指頭大
検体搬送	冷蔵
結果報告	1日後
検査日	月～金
検査法	シヨ糖浮遊法
備考	

37.糞便フローラ

¥12,000

ラクトバチルス・ビフィドバクテリウム・大腸菌群・レンサ球菌・ブドウ球菌・クロストリジウムの数を測定。善玉菌と悪玉菌のバランスを判定。

検体材料	糞便
検体必要量	親指の第一関節程度
検体搬送	冷蔵
結果報告	7日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

38.サルモネラ(培養法)

¥950

糞便中のサルモネラ菌を検出。

検体材料	糞便・スワブ便
検体必要量	拭い
検体搬送	冷蔵
結果報告	3～4日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

環境検査

39.細菌同定検査(タオル)

¥2,000

タオル中の細菌同定と菌数定量。

検体材料	タオル
検体必要量	10g以上
検体搬送	冷蔵・冷凍
結果報告	3日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

40.環境サルモネラ

¥1,500

敷料やふき取り検査におけるサルモネラ菌を検出。

検体材料	拭き取り
検体必要量	拭い
検体搬送	冷蔵
結果報告	7日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

41.堆肥培養同定(敷料検査)

¥5,000

敷料中に含まれる、乳房炎と関連の高い細菌同定と菌数定量。

検体材料	敷料
検体必要量	100g
検体搬送	冷蔵
結果報告	7日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

環境検査

42.環境クロストリジウム

¥1,500

敷料やエサにおけるクロストリジウムの検出と定量。

検体材料	敷料
検体必要量	100g
検体搬送	冷蔵
結果報告	7日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	単独依頼 +1,200円

43.細菌同定検査(水)

¥2,000

家畜の飲用水等に存在する細菌の菌種同定と菌数定量。

検体材料	水
検体必要量	5ml
検体搬送	冷凍
結果報告	3日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

44.レジオネラ

¥10,000

レジオネラ菌検出と定量。

検体材料	水
検体必要量	専用容器
検体搬送	冷蔵
結果報告	10～14日後
検査日	月～木
検査法	
備考	祝日前受入不可

環境検査

45.環境プロトセカ

¥1,200

環境検体からのプロトセカを検出。

検体材料	水・拭き取り
検体必要量	5ml
検体搬送	冷蔵
結果報告	7日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

検体材料	
検体必要量	
検体搬送	
結果報告	
検査日	
検査法	
備考	

検体材料	
検体必要量	
検体搬送	
結果報告	
検査日	
検査法	
備考	

食品検査

46.一般生菌数

¥1,200

様々な細菌の1グラム当たりの数を測定。

検体材料	食品
検体必要量	20g
検体搬送	冷蔵
結果報告	2日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

47.大腸菌群

¥1,200

大腸菌群の検出と菌数定量。

検体材料	食品
検体必要量	20g
検体搬送	冷蔵
結果報告	1日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

48.黄色ブドウ球菌

¥1,200

黄色ブドウ球菌検出検査。

検体材料	食品
検体必要量	20g
検体搬送	冷蔵
結果報告	1日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

食品検査

49.サルモネラ

¥1,200

サルモネラ検出検査。

検体材料	食品
検体必要量	20g
検体搬送	冷蔵
結果報告	3～4日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

50.大腸菌

¥1,200

大腸菌検出検査。

検体材料	食品
検体必要量	20g
検体搬送	冷蔵
結果報告	1日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

51.乳酸菌数

¥1,500

発酵乳等の乳酸菌数測定検査。BCP加プレートカ
ウントアガール使用。

検体材料	食品
検体必要量	20g
検体搬送	冷蔵
結果報告	3日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

食品検査

52.セレウス

¥1,200

セレウス菌検出検査。

検体材料	食品
検体必要量	20g
検体搬送	冷蔵
結果報告	2日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

53.リステリア

¥1,800

リステリア菌検出検査。

検体材料	食品
検体必要量	20g
検体搬送	冷蔵
結果報告	4日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

54.O-157

¥1,800

O-157検出検査。

検体材料	食品
検体必要量	100g
検体搬送	冷蔵
結果報告	3日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

食品検査

55.カンピロバクター

¥1,800

カンピロバクター菌検出検査。

検体材料	食品
検体必要量	20g
検体搬送	冷蔵
結果報告	7日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

56.カビ検査

¥2,400

糸状菌（カビ）検出検査。

検体材料	食品
検体必要量	20g
検体搬送	冷蔵
結果報告	7～14日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

57.カビ同定検査

¥2,400

糸状菌（カビ）の種名を同定する。

検体材料	食品
検体必要量	20g
検体搬送	冷蔵
結果報告	7～14日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

食品検査

58.酵母様真菌

¥1,200

酵母様真菌検出検査。

検体材料	食品
検体必要量	20g
検体搬送	冷蔵
結果報告	7日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

59.腸内細菌科菌群

¥2,800

ユッケ等、生食用食肉の細菌を確認。

検体材料	食品
検体必要量	300g
検体搬送	冷蔵
結果報告	4日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

60.ビブリオ

¥2,400

ビブリオ菌検出検査。

検体材料	食品
検体必要量	20g
検体搬送	冷蔵
結果報告	3日後
検査日	月～金
検査法	培養法
備考	

食品検査

61.乳脂肪分

¥7,800

乳製品に含まれる脂肪とその割合。

検体材料	食品
検体必要量	200 g 以上
検体搬送	冷蔵・凍結
結果報告	14日後
検査日	月～金
検査法	
備考	

62.無脂乳固形分

¥5,400

乳製品から水分を除いた全栄養成分「乳固形分」より、乳脂肪分を除いたもの「無脂乳固形分」

検体材料	食品
検体必要量	200 g 以上
検体搬送	冷蔵・凍結
結果報告	14日後
検査日	月～金
検査法	
備考	

検体材料	
検体必要量	
検体搬送	
結果報告	
検査日	
検査法	
備考	

血液検査

63.BLV

¥1,600

牛伝染性リンパ腫ウイルス感染による抗体の検出。BLV清浄化に活用。

検体材料	血液
検体必要量	1ml
検体搬送	冷蔵
結果報告	1~7日後
検査日	週1回程度
検査法	ELISA法
備考	

64.BVD

¥1,600

牛ウイルス性下痢・粘膜病ウイルスの抗原を検出。持続感染牛の発見に活用。

検体材料	血液
検体必要量	1ml
検体搬送	冷蔵
結果報告	1~7日後
検査日	週1回程度
検査法	ELISA法
備考	

65.牛IgG

¥2,500

子牛の血液中に含まれる免疫グロブリン(IgG)濃度を測定し、初乳による受動免疫が適切に移行しているかを評価する検査。

検体材料	血液
検体必要量	0.5ml
検体搬送	冷蔵・冷凍
結果報告	7日後
検査日	毎週1回
検査法	SRID法
備考	採血後送付まで日数を置く場合、血清分離のうえ凍結

血液検査

66.ヨーネ菌抗体検査

¥1,600

ウシヨーネ病の原因菌であるヨーネ菌感染による抗体を検出。ヨーネ菌感染牛スクリーニング検査に活用。

検体材料	血液(血清のみ)
検体必要量	1ml
検体搬送	冷蔵
結果報告	1~7日後
検査日	週1回程度
検査法	ELISA法
備考	

検体材料	
検体必要量	
検体搬送	
結果報告	
検査日	
検査法	
備考	

検体材料	
検体必要量	
検体搬送	
結果報告	
検査日	
検査法	
備考	

バルク乳スクリーニングご報告内容

*スタンダード(¥1,500) コメント付(+¥500)

※ 菌量で報告

- 1.無乳性レンサ球菌(SAG)
- 2.黄色ブドウ球菌(SA)
- 3.その他レンサ球菌(NSAG)
- 4.その他ブドウ球菌(CNS)
- 5.大腸菌群(CO)
- 6.その他腸内細菌
- 7.総生菌数
- 8.耐熱菌数
- 9.バチルス菌数
- 10.その他環境細菌

*簡易同定(+¥1,000)

※ %で報告

- 1.レンサ球菌
- 2.ブドウ球菌
- 3.シュードモナス
- 4.クレブジエラニューモニアイ
- 5.エンテロバクター
- 6.大腸菌
- 7.コリネバクテリウム
- 8.カンジダ
- 9.黄色ブドウ球菌
- 10.緑膿菌
- 11.プロトセカ
- 12.プロテウス
- 13.アルカノバクテリウム
- 14.セレウス
- 15.セラチア
- 16.マイクロコッカス
- 17.ミクロバクテリウム
- 18.バチルス

報告例) バルク菌:レンサ球菌 30% ブドウ球菌 5% シュドモナス 35% クレブシエラ 10%
コリネバクテリウム 5% カンジダ 5% ミクロコッカス 10%